

平成29年度入学式 学校長式辞

清流長良川にも陽春の光があふれ、校庭からも春爛漫の金華山を望むことができる季節となりました。

本日、平成29年度岐阜県立岐阜北高等学校の入学式に際し、PTA会長 加納一郎様をはじめご来賓の方々、保護者の皆様にはご多忙中にもかかわらず、ご臨席賜りましたこと、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました360名の皆さん、入学おめでとう。

保護者の皆様、お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。

さて、入学生の皆さんは、9か年の義務教育を終え、厳しい入学試験を突破され、晴れて岐阜北高等学校に入学されました。本校の教職員や皆さんの先輩も、皆さんの晴れの入学を待っていました。いよいよ今日から希望に満ちた高校生活が始まります。

高校生活は、いろいろな意味で義務教育とは違います。とりわけ、大きな違いは、そのスタートにあります。この日を迎えるまでには、迷いや不安、試練、友人との別れなど、皆さんには様々なことがあったことと推察します。しかし、皆さんは、自分自身の進路選択と努力の結果として本校への入学を果たされました。そこが、義務教育とは決定的に違う点であろうと思います。つまり、その選択には自らの責任が伴うということです。

皆さんは、これから幾度となく人生における選択と決断を繰り返していくことと思います。高校は、まさに、皆さんが、将来の生き方を考え模索する時期を過ごすところです。みなさんが、高校時代に育んだ人間としての在り方・生き方についての基本姿勢が、みなさんのその後の生き方を大きく方向付けしていくこととなります。今日はその第一歩を踏み出す日です。

皆さんが、本校での高校生活をスタートするに当たり、三つのことをお話しします。

まず、一つ目は、高校における学習においては、自立的、主体的な学びを心掛けてください。高校での学習は、中学校までの学習に比べ、格段に量が増え、その質も高くなります。また、単純に一つの方法や考え方では答えが導けない場合もあります。教えられることを待っているだけの受け身の姿勢では、身に付けることはできません。自分なりに試行錯誤し、時には他者と協働しながら常に問題意識をもって学んでください。

二つ目は、仲間と切磋琢磨し、その中で友情を育んでください。自分にはないものを友人から学び、互いに自らを高め合っていける友人をつくってください。勉強や部活動、生徒会活動など、学校生活における様々な場面で人と関わり、その中で自らの将来の生き方を考えることは、皆さんを人として成長させ、人生を豊かなものにします。それは、生涯においてかけがえのない財産となるはずです。

三つ目は、皆さんのこれからの生き方をどのように社会に生かしていくか、役立てていくかを考えてください。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、2027年を目標とするリニ

ア新幹線の開通など、日本経済には明るい兆しが見える一方で、東日本大震災によって発生した福島第一原子力発電所の事故は、日本のエネルギー政策に大きな転換を迫り、持続可能な社会への課題を投げかけています。また、世界経済に目を向ければ、イギリスがEUから離脱を表明するなど、先行きの不透明な部分もあります。

さらに、皆さんが生きていくこれからの時代は急速に変化していきます。グローバル化は社会に多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させつつあります。とりわけ、「第4次産業革命」の到来ともいわれる進化した人工知能が、我々の社会や生活を大きく変えていくとの予測もなされています。

しかし、この様に予測が困難な時代だからこそ、その変化を前向きにとらえ、皆さんの将来の生き方をいかに社会に生かし、役立てていくかを真剣に考えて欲しいと願っています。

本校は、前身の岐阜市立中学校の創立から70有余年、県立岐阜北高等学校となって62年目を迎える伝統校であります。

正面左手をご覧ください。本校の校訓が掲げられています。本校の校訓は、「変わらぬ色の三つ柏 若き生命 高き志操 ペンの象る英知をもちて」という和文調の校訓であり、校章はこの言葉を図案化したものです。

「柏」は、論語で、寒い冬にもしおれず、緑を保つ強い植物とされ、苦しい時に、力を発揮するものを象徴しています。「若き生命」とは、瑞々しい生命力、とりわけ精神の若さを意味します。「高き志操」とは、高く価値ある志を抱き、その実現に向かって、諦めず努力を重ねる強い心を表します。「英知」とは、単に知識を吸収するのではなく、それを現実の生活にいかに関わり付けていくのかを考えて工夫する、真の意味での聡明さです。本校の校訓は、「英知をもちて」と続きを明言せず終わっています。「英知をもちて」どうするのか。それは皆さん一人一人が自分自身で考えていくことなのです。

本日から皆さんは岐阜北高等学校の生徒として、自らの人生を切り拓く第一歩を踏み出しました。私ども教職員一同も、本校で生徒の皆さんを教え導くことに誇りを持ち、精一杯努力する所存です。保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針にご理解を賜り、物心両面にわたっての積極的なご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご多用の中、ご来賓の皆様には入学式にご列席いただき、誠にありがとうございました。今後とも本校の発展のため、より一層のご支援とご助力をいただきますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が実り多きものになることを願い、平成29年度入学式の式辞といたします。

平成29年4月10日

岐阜県立岐阜北高等学校校長 高木 俊明